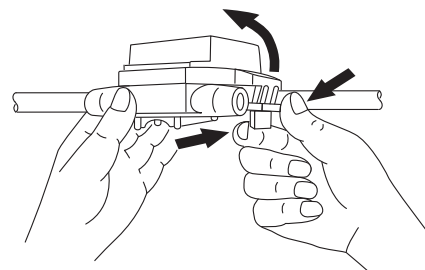
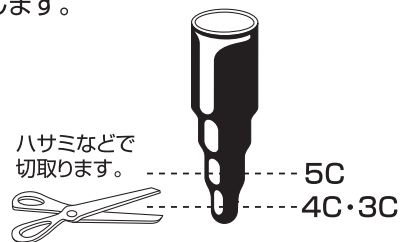


給電部への接続方法

●防水キャップの加工方法

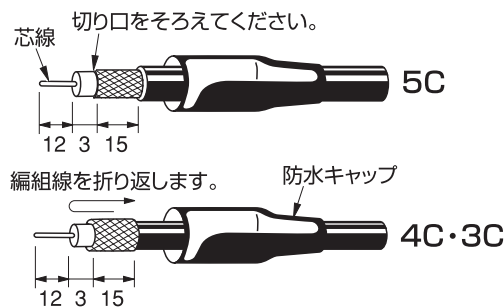
同軸ケーブルの太さに合わせてカットします。



接続後、ふたはパチンと音がするまで閉じてください。防水キャップは確実に挿入してください。

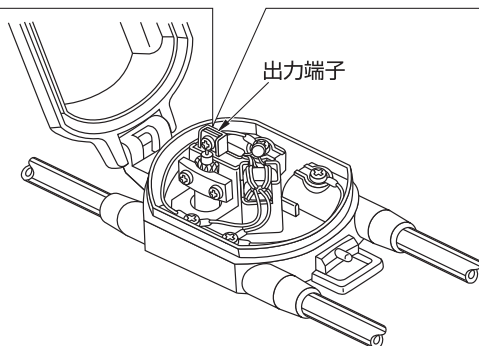
●ケーブルの加工方法 単位：mm

- 先に防水キャップを通してから加工してください。
- 防水キャップは放射器内部に入っています。



ポイント 出力端子部と編組線が接触しないようにしてください。

出力端子部に同軸ケーブルを挿入し、図のように固定します。



標準性能

型名	AU14R	AU20R
受信チャンネル [ch]	13~52	13~52
素子数	14	20
動作利得 [dB]	8.0~11.0	8.5~13.0
インピーダンス [Ω]	75	
電圧定在波比 [以下]	2.5	
半値幅 [°]	37~55	30~50
前後比 [dB]	16~25	16~23
風圧荷重 [N(kgf)]	92(9.4)	108(11.0)
外形寸法[長さ×幅×高さmm]	1093×409×534	1483×409×534
質量(重量) [kg]	0.9	1.0
適合マスト径 [mm]	φ22~48.6	

お客様窓口

0570-091039

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30(土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
 (ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
 5104067 平成26年4月

日本アンテナ

取扱説明書

このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。
 ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

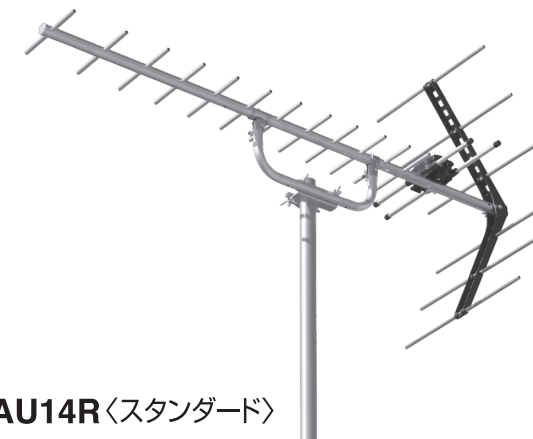
※「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。

※「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板の商品名です。

高性能型 UHFアンテナ 〈スタンダード〉

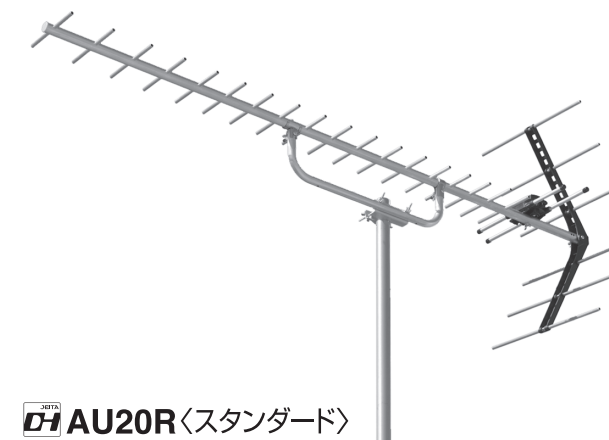
■特長

- デジタル放送に対応した防滴構造の耐久性に優れたUHFアンテナです。
- 2線式ダイポール給電部を採用していますので、広帯域にわたって前後比、利得、電圧定在波比(VSWR)が優れ、高感度で受信ができます。
- コーナーリフレクター(反射器)を採用していますので、前後比が優れ、後方からの電波などによる障害を軽減し受信できます。
- 耐久性向上のため、アルミ製アームを採用。
- 出力端子は75Ωの同軸ケーブル専用です。
- 取付金具にはサビに強いZAM®を使用。※



AU14R〈スタンダード〉

AU14R 受信チャンネル：13ch~52ch 14素子・水平/垂直偏波両用



AU20R〈スタンダード〉

AU20R 受信チャンネル：13ch~52ch 20素子・水平/垂直偏波両用

取扱上の注意

アンテナを屋根上などに設置する場合は、強度上の安全性確保のため、専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

警告 この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



注意 この表示を無視したり、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

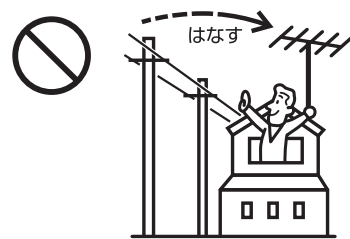
- 台風の後などは、アンテナや取付金具に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがの原因になることがあります。点検は、専門の技術者または専門業者にご相談ください。



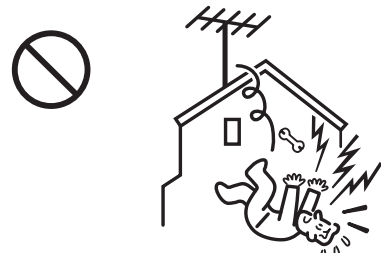
- アンテナや取付金具などに洗濯物や他のものを掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因になることがあります。



警告



電線に触れないようにできるだけ離してください。

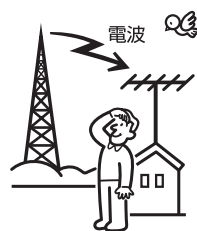


アンテナを設置する場合は、安全のためにしっかりした足場を確保した上で作業してください。

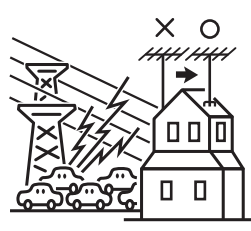


アンテナ設置の際、アンテナ素子などでケガをしないよう十分にご注意ください。

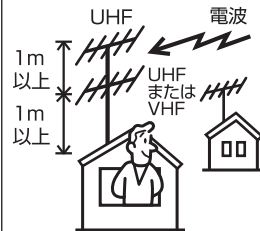
注意



建物や樹木などの陰はさけ、見通しのよい場所を選んでください。



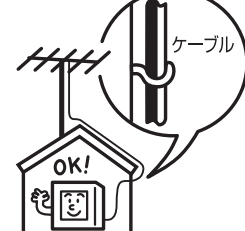
交通量の多い道路、ネオン、高圧線などからできるだけ離してください。



他のアンテナとの距離はできるだけ離してください。

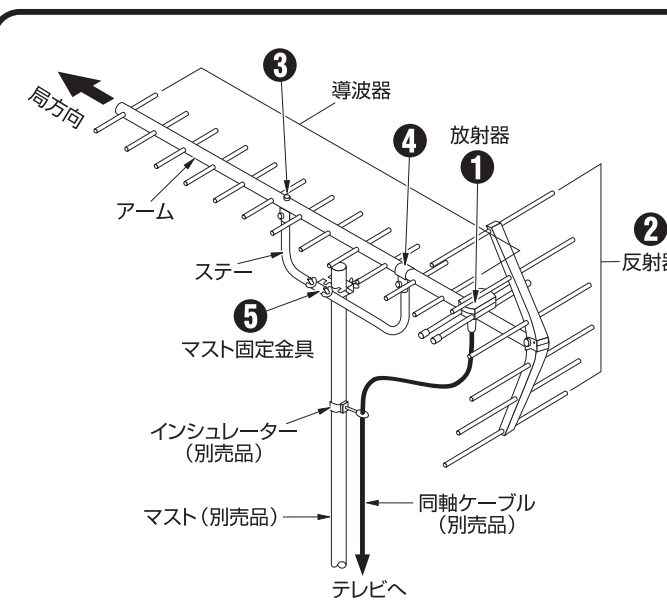


アンテナは良好な画像が得られる場所、方向、高さを選んでください。

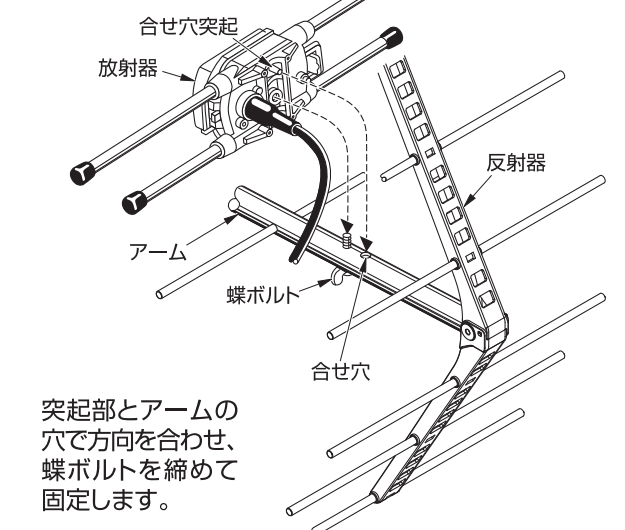


ケーブルは、トイや屋根などに触れないようにしてください。

アンテナの組立方法



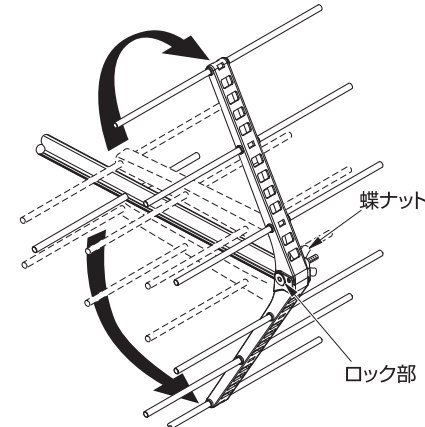
① 放射器の取付け



突起部とアームの穴で方向を合わせ、蝶ボルトを締めて固定します。

② 反射器の組立

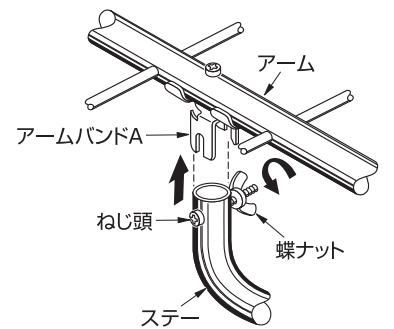
パチンと音がするまで上下に開きます。



ロック部が確実にロックされていることを確認した後、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

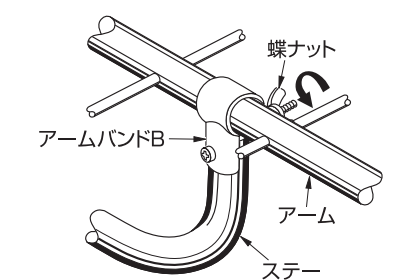
③ ステアの組立(A)

蝶ナットをゆるめ、ステアをアームバンドAに差込み、ねじ頭が確実に奥まで入っていることを確認し、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

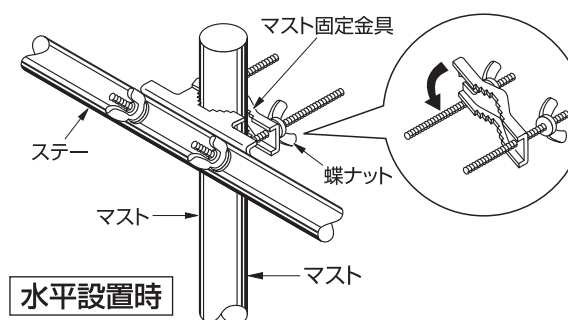


④ ステアの組立(B)

Aの組立が終わったことを確認後、蝶ナットをしっかりと締付けてください。

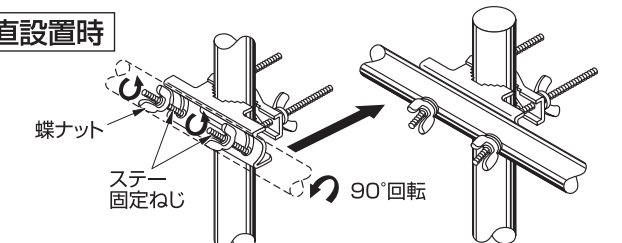


⑤ マスト取付け



- 垂直設置の場合にはステア固定ねじの蝶ナットをゆるめ、ステアを矢印のように90°回転させます。

垂直設置時



マスト取付前に今一度、ねじがしっかりと締付けられているか確認の上、マストにアンテナを取付けてください。